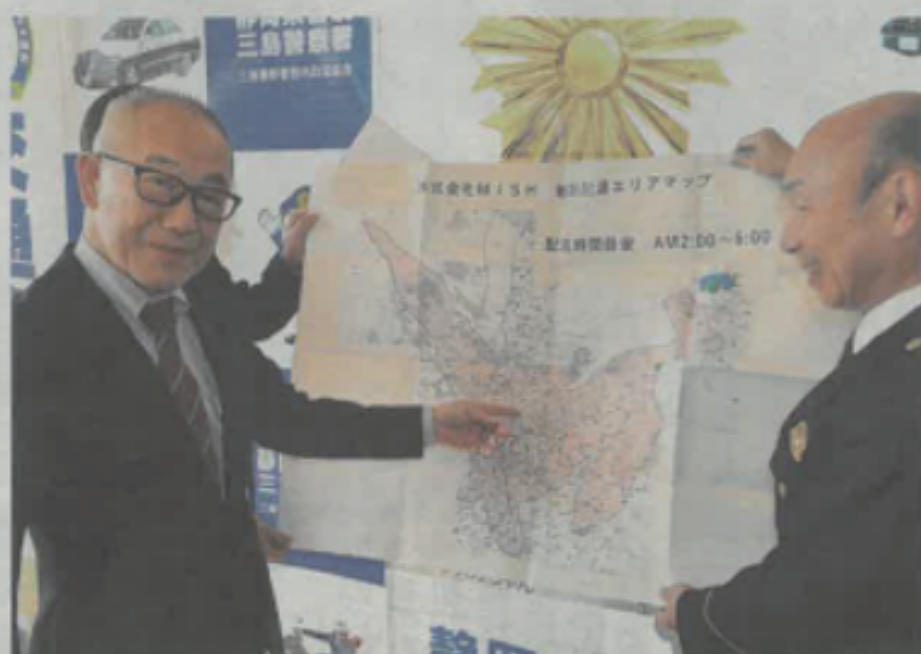


配達用  
バイク

# ドラレコのデータ提供



締結後、ドラレコのデータ提供に活用する新聞配達エリアマップを森署長(右)らに説明する渡辺社長(三島署)

## 新聞販売店MISHと三島署

## 東部初 地域の安全へ捜査協力締結

新聞配達用オートバイに付けたドライブレコーダー(ドラレコ)の録画データ提供を通じ、捜査活動に協力する画期的な取り決めが24日、三島署で交わされた。三島市、函南町など2市3町を配達エリアに持つ同市一番町の新聞販売店MISH(ミッシュ)と同署が協議書を締結、住民の安心安全を地域一体となって守る方針を確認した。同様の合意締結は県東部地区で初めて。

(伊豆日日新聞 佐藤裕一)

配達エリアを約60の  
番号で細かく区分け  
し、いざというときは  
相互で迅速的確な対応  
を可能にした。事件や  
事故の発生で捜査協力  
地区安全運転管理協会  
が必要の場合に署が依  
頼し、同社は新聞配達  
で得た撮影データを署  
に提出する仕組みだ。  
同社は本年度、三島  
地区安全運転管理協会  
が推進事業所に指定され  
ている。ドラレコの独  
自運用を明文化すべ  
ば、地域に根ざしたよ  
り一層の安心安全につ  
ながるのでは―と相互

の思惑が一致し、今回の締結に至った。個人情報漏えいやプライバシー侵害を防ぐため、運用については「捜査などの範囲内」と責任の所在を明確にしている。

同社は配達用のバイクと車両、営業車など約100台にドラレコを設置。主として深夜2時から早朝6時までの配達時間帯の記録が提供情報の対象となる。

同署で森正晴署長、同社の渡辺幸一郎社長が協議書を調印した。森署長は「昨今、夜間や早朝時間帯の犯罪が多い傾向にある。エリアをくまなく走行している皆さんの録画データ提供は、犯罪や交通事故の捜査、防犯活動に大きく貢献されると思う」と期待した。渡辺社長は「重要な証拠になりえる情報提供を通じ、地域社会の安心安全の向上につなげていきたい」と語った。